

JISA広報活動一覧

現在の広報・出版関係の情報発信内容を一覧化した。ホームページはサブドメインがあるものは独立表記。なお、発行物は過年度分も次のとおり一部対象としている。

- ・ 会員企業だけでなく、会員以外も発信対象とするもの
- ・ 刊行物やDVDなど現在でも頒布しているもの。

媒体	頻度	主な対象	内容	備考	関連URL (URLのないものはニュース記事)
電子メディア					
協会ホームページ	随時更新	業界企業全般	各種協会活動の情報を中心に提供。	月間平均10万ページビュー。	http://www.iisa.or.jp/
グローバル化支援サイト	随時更新	業界企業全般	JISA会員企業及び情報サービス企業のグローバル展開を支援することを目的として開設。		http://goglobal.iisa.or.jp/
IT JOB GATE		大学生・大学院生	情報サービス産業の業界動向と仕事を解説するWebサイト。当業界及びITエンジニアの職種と業務、世界のICT産業規模の紹介、IT用語解説のほか、会員企業採用担当者からのメッセージも掲載。	平成25年度までは新卒向け就職説明会の説明会開催日程を毎年案内するサイトとして運用。現在は業界コンテンツ提供のみに変更。	http://itjobgate.iisa.or.jp/index.html
メールニュース (JISAWebニュース)	週刊	会員企業	セミナーの開催、調査の実施、委員会活動報告のレポート等をメルマガ形式で配信。	配信先は会員から申請された窓口担当者宛。バックナンバーは協会HPに掲載。	http://www.iisa.or.jp/public_info/web_news/tabid/347/Default.aspx
JISAWebメンバー	週刊	会員企業	メールニュースや会員限定の会報コンテンツの案内を会員企業に勤務する登録者にプッシュ型でメール配信。	登録は右記URLから希望者が登録。	http://www.iisa.or.jp/members/tabid/1016/Default.aspx
プレスリリース (メール配信)	四半期 他	新聞・IT系メディアの記者等	四半期DI調査結果を速報するほか、メディアを通じて広く伝えたい情報をメール配信。	平成26年度は9本。	http://www.iisa.or.jp/public_info/press/tabid/279/Default.aspx
定期刊行物					
協会案内	年刊	一般	当協会の組織、事業、活動などの概要を豊富なビジュアルを使って分かりやすく説明したパンフレット。毎年作成。	協会案内の枠を超えて、業界の歴史と展望、ビジネスモデル等も紹介。協会HPに掲載。	http://www.iisa.or.jp/Portals/0/images/public/association/iisa_profile2014.pdf
情報サービス産業白書	年刊	会員企業・一般	毎年テーマを設定して、会員対象とユーザ企業を対象に動向調査を実施すると共に、各委員会の成果も盛り込んで刊行。	会員に1部配付のほか、日経BPから販売中。会員の特別価格による購入は協会HPにて。	http://coin.nikkeibp.co.jp/coin/itpro-s/book/dtl/ncc026.html http://www.iisa.or.jp/publication/tabid/271/catid/3/Default.aspx
JISA会報	季刊	会員企業	当協会設立以来、刊行している季刊誌。講演録、論文、報告書概要を収録。	発行数：3,000。会員のほか、情報団体、メディア、経産省等に配布。Webメンバー限定で協会HPでPDFファイルを閲覧可能。	http://www.iisa.or.jp/public_info/transaction/tabid/451/Default.aspx
その他発行物・発信等					
JISAブックレッツ		会員企業	ビジネスマナー、メンタルヘルス、個人情報保護、著作権、契約など情報サービス企業の役職員が一通り知っておくべきテーマをハンディな冊子にまとめて提供。	会員に1冊配付。追加は協会HPにて販売（会員は特別価格）。現在は改訂を重ねつつ5冊販売中。26年度は6,362冊販売。	http://www.iisa.or.jp/publication/tabid/271/catid/2/Default.aspx
書籍		会員企業	要求工学知識体系やIT分野の標準規格などの調査研究成果を取りまとめて一般書籍として出版。	会員に1冊配付。追加は協会HPにて販売（会員は特別価格）。	http://www.iisa.or.jp/publication/tabid/271/catid/3/Default.aspx

報告書		会員企業	情報サービス産業に関わる制度や技術の動向調査研究、指針・ガイドライン等を取りまとめて発行。	会員に1冊配付。PDF掲載も。追加は会員価格で販売。26年度は13本配布。	http://www.iisa.or.jp/publication/tabid/271/catid/1/Default.aspx
意見書・要望書		中央省庁等	業界に関わりのある情報関連法制、税制改正、会計基準、政府のIT調達等に関する意見書・要望書を経済産業省、政府与党等に提出。	意見書・要望書は協会HPに掲載。平成26年度は8本提出。	http://www.iisa.or.jp/suggestion/tabid/454/Default.aspx
DVD（情報サービス新時代）		大学生・大学院生	情報サービスの仕事をわかりやすく動画で紹介。 Vol.1 世界に広がるビジネスフィールド Vol.2 世界に1つしかないものを創る Vo.13 未来の扉を開くIT	会員に1部配付。追加は無償配布。コンテンツはすべてHP（IT JOB GATE内）に掲載。	http://itiobgate.iisa.or.jp/movie/index.html

イベント・セミナー等	頻度	主な対象	内容	備考	URL
JISAコンベンション	年1回	会員企業	元は政府の情報化月間関連行事としてスタート。26年度は「JISA設立30周年記念コンベンション」として開催。毎年テーマを設定し、講演会とパーティで構成。26年度は、JISA設立30周年記念行事として、新ロゴの制定、フォト・動画コンテストの審査結果発表を実施。	27年度はJISAコンベンションとSPESを統合し、JISA Digital Masters FORUM(JDMF) 2015として11月27日に開催予定。	http://www.iisa.or.jp/event/tabid/1436/Default.aspx
SPES（Software Process Engineering Symposium）	年1回	会員企業	元は会員企業のソフトウェアエンジニアリング力の向上を目的とし、改善活動の発表の場の提供を目指して開催。その後、JISA活動やIPAのセッションも。26年度はセッション数30本、講演者34名。公募論文や講演のプレゼンカも表彰。	平成26年度 コンベンションパーティー：447名参加 SPES:294名参加	http://www.iisa.or.jp/event/tabid/1701/Default.aspx
JISA Awards	年1回	会員企業	独創性が高く国際的に通用するシステムの創造者を表彰する表彰制度。審査委員長：坂村健東大教授,委員：青山幹雄南山大教授、夏野剛慶大教授ほか	会員を対象にこれまで8社が受賞。25年度までは表彰式と記念講演会をセットで開催。26年度は定時総会で表彰式を挙げる。	http://www.iisa.or.jp/event/awards/tabid/265/Default.aspx
WITSA ICT Excellence Award	隔年1回	会員企業	世界情報サービス産業機構（WITSA）が主催する賞。JISAは賞の推薦母体。	WITSAは80ヶ国余りのICT関連団体が加盟。世界のICT市場の90%をカバー。世界大会は隔年開催。	http://witsa.org/witsa-website/global-ict-excellence-awards/
小中高教員受入研修	毎夏2日間	小中高教員	21年度広報・人材委員会広報部会では小中高校向け情報教育懇談会において情報教育教材の作成や小中高校の生徒や教員の受入の検討を開始。24年度より(一財)経済広報センター主催「教員の民間企業研修」に協力し、小中高教員を対象に会員2社の施設見学と座学、個人情報保護研修でプログラムを構成して実施。	26年度：町田市教育委員会の小学校教員。受入は経済広報センターにて随時。	http://www.kkc.or.jp/education/kyouin/index.html http://www.iisa.or.jp/explain/it-education/tabid/758/Default.aspx
論説・編集委員懇談会	年1回	全国紙・経済紙の論説編集委員	新聞社・通信社等の論説委員・編集委員を招いて社会におけるITのあり方や業界の使命・役割などについて議論。	平成24年度より実施。	http://www.iisa.or.jp/Portals/0/resource/news/980/501.pdf
記者会見	年1回	IT系メディアの記者	正副会長がプレス関係者を対象に会見。	メディア参加者：26年度は18名。	http://www.iisa.or.jp/Portals/0/resource/news/992/501.pdf

IT業界研究カフェ	年1回	大学生・大学院生	26年度初開催。当業界に就職を希望する学生に情報サービス企業の魅力を伝える機会を提供。セミナーとパネルディスカッションのほか、カフェ形式にて会員企業で活躍するビジネスパーソンと学生との交流を実施。	26年度：264名参加。平成25年度までは大学向け「情報サービス産業セミナー」として、会員企業と大学就職部との交流機会を提供。	https://www.iisa.or.jp/event/tabid/1501/Default.aspx
人材フォーラム	年1回	会員企業	ダイバーシティや働き方改革をテーマに開催。基調講演、事例紹介、パネルディスカッションで構成。	26年度：参加者108名。	http://www.iisa.or.jp/Portals/0/resource/news/975/502.pdf
次世代リーダー養成アカデミー	年3回	会員企業	会員各社から次世代を担う人材（経営幹部候補、プロジェクトマネージャ、高度スペシャリスト等）に、情報共有と自己研鑽及びコミュニティ形成の機会を提供。経営者による講義と集団討議を実施。	毎年40名程度が参加。直近ではOB会結成の動きも。	http://www.iisa.or.jp/Portals/0/resource/news/977/502.pdf
ICTカレッジ（ITプロフェッショナル育成研修）	随時	会員企業	業界各社の人材育成に寄与する研修コース等を企画し、以下のとおり、ITプロフェッショナル育成研修における定期講座及び通信教育講座を開講。開講前には、新入社員研修としての活用を狙いとして講座内容紹介セミナーを開催。講座は外部委託。	平成26年度 定期講座数837、参加者1,642名 通信教育講座数251、参加者436名	http://www.iisa.or.jp/event/ict_college/tabid/156/Default.aspx
各種セミナー及び説明会	随時	会員企業	上記以外の委員会・事務局主催のセミナー・説明会を開催。テーマは、政策紹介、制度対応、エンジニア育成など多岐に渡る。	原則会員は参加無料。26年度は30本開催。	http://www.iisa.or.jp/tabid/958/Default.aspx

過去の取組	時期	主な対象	内容	備考	URL
NHK教育テレビ放映 シンポジウム「新IT立国宣言－知的社会の実現と課題－」	平成21年3月9日	会員企業、一般	シンポジウム「新IT立国宣言－知的社会の実現と課題－」を千代田放送会館で開催(経済産業省、(独)情報処理推進機構、(社)日本経済団体連合会後援)。114名参加者。 シンポジウムは、坂村健氏(東京大学大学院情報学環教授、YRPユビキタス・ネットワーク研究所長兼任)、田口潤氏((株)インプレスビジネスメディア取締役編集局長)、南場智子氏((株)ディー・エヌ・エー代表取締役社長)、浜口会長をパネリストとし、コーディネータ福島敦子氏(キャスター・エッセイスト)の進行により議論し、新IT立国のためには「情報技術を追求すること」ではなく「社会構造、企業活動、市民生活等を変えようとする意志」が重要であることを社会に向け発信。	NHK教育テレビ「日曜フォーラム」に番組提案し、平成21年5月24日、全国放映。シンポジウムの内容はDVDで会員に配布。NHKオンデマンドでの視聴不可。	
小説化 山田智彦『頭脳集団 ザ・ソフトハウス』	昭和61年9月	会員企業、一般	ソフトウェアマンの安西武行と浦光登志子が婚約旅行の行先で失踪した。友人の森井周二と岩城修子は、真相追求のため、二人の足跡を辿って能登へ行ったが、その夜、何者かに襲われる。それから一年経って、森井周二はソフトウェア業界の視察団の一員として訪ソするが…	単行本：317ページ 出版社：サンケイ出版（1986/09） ISBN-10：4383025439 ISBN-13：978-4383025430 発売日：1986/09	http://www.amazon.co.jp/%E9%A0%AD%E8%84%B3%E9%9B%86%E5%9B%A3-%E3%82%B6%E3%83%BB%E3%82%BD%E3%83%95%E3%83%88%E3%83%8F%E3%82%A6%E3%82%B9-%E5%B1%B1%E7%94%B0-%E6%99%BA%E5%BD%A6/dp/4383025439

TVドラマ 「二人がキーを叩くとき」	平成3年頃	一般	大沢逸美主演、坂上忍共演。	テレビ東京系 日曜日16時からの単発ドラマ
-----------------------	-------	----	---------------	-----------------------